

科目名	助産学演習Ⅲ Seminar in Midwifery Ⅲ
授業形態	演習
標準履修年次	2年次
実施学期・曜時限	春 B 金曜日 1・2時限
単位数	1単位
担当教員名	川野 亜津子 Atsuko Kawano 金澤 悠喜 Yuki Kanazawa
ティーチングフェロー(TF)・ティーチングアシスタント(TA)	なし
オフィスアワー等	オフィスアワーは特に定めませんが、事前連絡をしてから訪問すること 川野亜津子 AKAWANO@md.tsukuba.ac.jp 金澤悠喜 ykanazawa@md.tsukuba.ac.jp
授業の到達目標(学習成果)	(1)助産の質の現状と課題について、研究的視点から述べることができる (2)助産の質を評価するための研究方法を説明できる (3)助産の質を評価する研究を計画できる (4)助産の質を保障するために助産管理における課題を述べることができる
他の授業科目との関連	助産師教育課程履修者は必修
履修条件	受講は、助産師国家試験の受験資格を得ようとする学生に限る
授業概要	助産の質を評価し保障することについて助産管理の視点から研究的に学習する。エビデンスに基づく助産ガイドラインをクリティークすることにより、研究的視点で助産ケアを学習する。また、助産院の開設・運営に必要な事業計画を作成することにより、助産ケアの質を保証するための管理について学習する
キーワード	助産管理 Midwifery Management 助産業務 Midwifery Practice 助産実践能力評価 Clinical Ladder
授業計画	1 (5/24 1限)助産ケアのエビデンスとは(川野) 2 (5/24 2限)エビデンスに基づく助産ガイドライン クリティーク・プレゼンテーション(1)(川野・金澤) 3 (5/31 1限)エビデンスに基づく助産ガイドライン クリティーク・プレゼンテーション(2)(川野・金澤) 4 (5/31 2限)エビデンスに基づく助産ガイドライン クリティーク・プレゼンテーション(3)(川野・金澤) 5 (6/14 1限)エビデンスに基づく助産ガイドライン クリティーク・プレゼンテーション(4)(川野・金澤) 6 (6/14 2限)助産院を開設・運営するための計画(事業計画)(1)(川野・金澤) 7 (6/20 5限)助産院を開設・運営するための計画(事業計画)(2)(川野・金澤) 8 (6/20 6限)助産院を開設・運営するための計画(事業計画)(3)(川野・金澤) 9 (6/ 28 1限)助産院を開設・運営するための計画(事業計画)(4)(川野・金澤) 10 (6/ 28 2限)助産院を開設・運営するための計画(事業計画)(5)(川野・金澤)
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	授業時間以外においても、関連文献を読み“質の評価”について学習を深める

成績評価方法	<p>講義の3/2以上の出席を以て評価を受けることができる 授業の到達目標の達成状況60%, 授業内での発表内容・参加状況40%</p> <p><評価基準> 評価の視点は以下のとおりである</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 適切な問題を設定できる 2 設定した問題の背景を説明できる 3 設定した問題に対してどのような課題があるのかを指摘できる 4 その解決策について、先行研究がどのように述べているかを挙げるができる 5 既存の意見をふまえて、自らの考えを述べるができる <p>上記に対応した評価基準は以下のとおりである</p> <p>A* 上記1～7を自身で達成できる A 上記1～7をほぼ自身で達成できる B 上記1～7を教員の指導を受けながら達成できる C 上記1～7を教員の指導を受けながら概ね達成できる D 上記1～7について教員の指導のもとでも達成できない</p>
教材・参考文献・配布資料等	<p>助産師基礎教育テスト 日本看護協会出版社 助産師業務要覧 日本看護協会出版会</p>
その他(受講生にのぞむことや受講上の注意点等)	